

【インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践】シラバス抜粋

担当教員／Instructor	義永 美央子
開講区分(開講学期)／Semester	春～夏学期
開講科目名／Course Name	コミュニケーション論A / Communication in Culture and Society A
曜日・時限／Day・Time	木曜3限 / Thursday 3rd period
単位数／Credits	2
講義題目／Course Name	一歩進んだ日本語教育学概論
授業の目的と概要／Course Objective	この授業では、まず日本語教育に関する研究の動向について指定図書の購読をもとに検討します。また、研究と教育実践の関係性についても議論します。これらの過程を通じ、日本語教育学に関する理解を深め、受講生各自の今後の研究に役立てることが本講義の目的です。受講生の発表やディスカッションが中心になるため、積極的な参加を歓迎します。
教科書・教材／Textbooks	西口光一（監修）（2024）『一歩進んだ日本語教育学概論－実践と研究のダイアローグ－』大阪大学出版会
参考文献／Reference	本田弘之・岩田一成・義永美央子・渡部倫子（2019）『改訂版・日本語教育学の歩き方－初学者のための研究ガイド－』大阪大学出版会 その他、授業中に適宜紹介します。
特記事項／Special Note	障がい等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、人文学研究科言語文化専攻の大学院係(障がい学生相談窓口)に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。

担当教員／Instructor	義永 美央子
開講区分(開講学期)／Semester	秋～冬学期
開講科目名／Course Name	コミュニケーション論B / Communication in Culture and Society B
曜日・時限／Day・Time	木曜3限 / Thursday 3rd period
単位数／Credits	2
講義題目／Course Name	第二言語の学習・教育と質的研究
授業の目的と概要／Course Objective	この授業では、まず質的研究のデザイン、方法、パラダイムについて指定図書の購読をもとに検討します。その後、質的研究の手法を用いた論文を読み、質的データ分析に基づく第二言語教育・学習の研究がどのようにして可能になるのかを考察します。これらの過程を通じ、質的研究に関する理解を深め、受講生各自の今後の研究に役立てることが本講義の目的です。受講生の発表やディスカッションが中心になるため、積極的な参加を歓迎します。
教科書・教材／Textbooks	笹島茂他編（2023）『英語授業をよくする質的研究のすすめ』ひつじ書房 （注意：テキストのタイトルには「英語授業」とありますが、言語教育全般を扱います）
参考文献／Reference	授業中に適宜紹介します。
特記事項／Special Note	